



AKITA

〔5月〕

県内経済

概況

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響などから、一段と悪化している

電子部品の生産は持ち直しているが、機械金属が一段と悪化しているほか、木材も減少幅が拡大している。建設は、公共工事が増加傾向で推移しているが、住宅着工は弱い動きとなっている。個人消費は悪化している。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

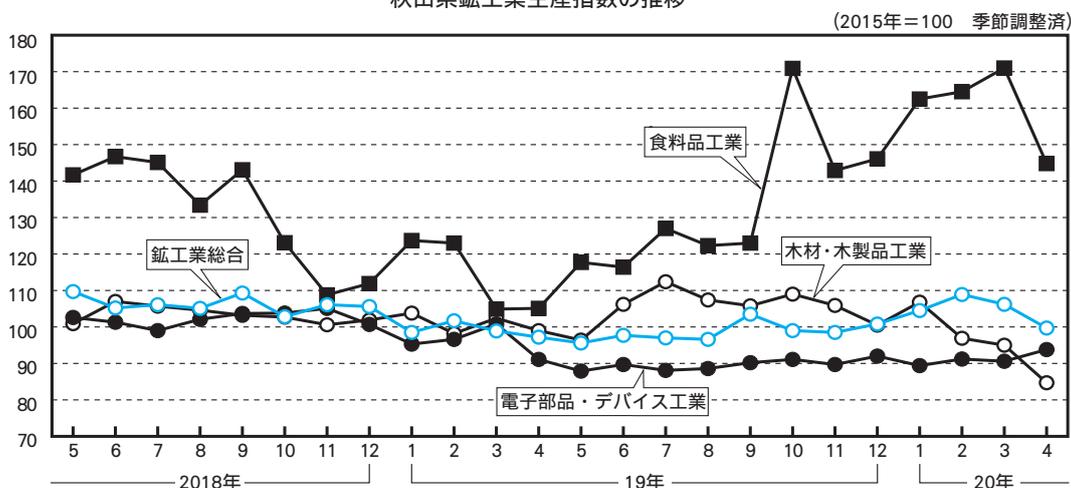
産業別の動向では、電子部品の生産額は3か月ぶりに前年を下回ったが、スマートフォン向けをはじめ、タブレット端末やゲーム機等、次世代通信規格「5G」関連製品の受注が増加している。機械金属の生産額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、前年比大幅減となった。木材の生産量は、普通合板（4月）、製材品ともに2か月連続で前年を下回り、減少幅が拡大している。公共工事請負額は、4か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年を上回って推移している。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事が振るわず、6か

月連続で前年を下回った。住宅着工は2か月連続で前年を下回り、弱い動きとなっている。個人消費は、小売店販売額（4月）が2か月連続で前年を下回ったほか、新車乗用車販売台数も前年を大幅に下回り、全体として悪化している。

有効求人倍率は前月比0.06ポイント低下の1.28倍となった。新規求人数は前年比22.1%減となり、13か月連続で減少した。事業主都合離職者数は27.1%増となり、2か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は0件であった。件数0件は、2018年10月以来、集計史上2度目。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

## 電子部品

生産額、前年比減少するも回復傾向

5月の生産額は前年比2.1%減と3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、水準としては回復傾向にある。

車載向けは、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で世界的に低迷が続いているものの、「5Gスマホ」と呼ばれる新製品の発売が続くスマートフォン向けをはじめ、タブレット端末やゲーム機等、次世代通信規格「5G」関連製品の受注が増加している。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルおよび半導体素子は堅調に推移しているものの、産業向け液晶パネルは減少が続いている。



## 機械金属

生産額、前年比大幅減

5月の生産額は前年比64.9%の大幅減となった。統計が現行方式となった2002年10月以降では、前年比の減少幅は過去最大、生産額は過去最少となった。

ウエイトの高い輸送機械において、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で世界的に販売が大きく落ち込み、取引先が操業停止となった先や、自社の生産ラインを一部停止している先もあるなど、減少幅が拡大している。その他の民需関連では、製鋼品、建機部品は堅調に推移しており、金型は一進一退の動きが続いている。公共工事関連では、堅調だった橋梁・鉄骨が減少に転じ、水道部品も減少が続いている。



## 木材業

普通合板、製材品とも停滞感強まる

全国的に、新設住宅着工戸数の減少が続く中、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう営業活動縮小等の影響から、生産・出荷動向は一段と停滞感を強めている。県内においても、普通合板、製材品とも需要減から減産幅が拡大している。

4月の普通合板は、生産量が前年比21.3%減と2か月連続で減少し、出荷量も同21.0%減と7か月連続で前年を下回った。在庫量は同26.1%増と3か月連続で前年比増加した。

5月の製材品は、生産量が前年比34.8%減と2か月連続で前年比減少し、出荷量も同30.4%減と4か月連続で前年を下回った。在庫量は同20.4%増と9か月連続の二桁増となった。



## 酒造業

### 出荷量、前年比減少幅が縮小

5月の清酒出荷量は、前年比18.2%減と8か月連続で前年を下回ったが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の解除地域が広がり、前月よりも減少幅は縮小した。出荷先別では、県内向けは同15.5%減、県外向けも同19.4%減となった。県外の主な出荷先別では、北海道が同39.9%減、東北5県は同5.4%減、東京も同30.1%減となった。種類別では、普通酒は同9.4%減、特定名称酒は同26.3%減となった。

2019酒造年度全国新酒鑑評会で、本県から出品された清酒21点が入賞し、入賞数の全国順位は5位となった。金賞酒の選定は、移動自粛のため審査員を招集できず中止となった。



資料：秋田県酒造組合

## 建設業

### 公共工事 国、市町村等が増加し、4か月連続で前年比増加

5月の公共工事請負金額は、県が減少したものの、国や市町村等が増加し、前年比18.3%増と4か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年同期比18.6%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の5月の新規受注額は、前年比47.6%減の1,763百万円と6か月連続で前年を下回った。うち官公庁工事は、前年度に公立学校新築の大口受注があった反動減もあり、同54.2%減と大きく落ち込んだ。民間工事は同37.0%増と伸びたものの、官公庁工事の落ち込みを補うには至らなかった。4月からの年度累計では、前年同期比31.0%減となっている。

#### 公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	5月	前年比	4～5月	前年同期比
件数	204	9.7	509	△2.9
請負金額	12,396	18.3	43,377	18.6

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

#### 地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	5月	前年比	4～5月	前年同期比
官公庁	1,430	△54.2	3,263	△22.4
民間	333	37.0	662	△55.5
合計	1,763	△47.6	3,925	△31.0

(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

### 企業倒産、集計史上2度目の発生ゼロ

5月末の県内銀行の預金は、前月末比1,152億円増加し、前年比でも6.1%の増加となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、政府による給付金の支給や一部企業で手元資金を厚くする動きがみられたことを反映し、高い伸び率となっている。貸出金は、前月末比242億円増加し、前年比でも0.4%の増加と、3か月ぶりに前年を上回った。

5月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は0件(前年比6件減)、負債総額は0円(同100.0%減)となり、1971年に集計を開始して以来、2018年10月に次いで2度目の倒産発生ゼロとなった。



資料：秋田県銀行協会

## 住宅着工

### 着工戸数、2か月連続で前年比減少

5月の県内新設住宅着工戸数は、297戸（前年比76戸減、20.4%減）であった。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令により、ゴールデンウィーク期間に住宅展示場が臨時休業となり来場者が減少したほか、打合せの延期や商談の長期化が生じ、2か月連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家が226戸（前年比64戸減）、貸家が58戸（同横這い）、分譲

住宅が11戸（同14戸減）、給与住宅が2戸（同2戸増）となっている。

持家と分譲住宅はともに2か月連続で前年を下回った。貸家は大仙市や大館市などで増加したものの、能代市や秋田市で減少したため、前年比横這いとなった。

地域別では、県北は持家と貸家、県央は持家、貸家、分譲住宅の着工が減少し、前年を下回った。県南は前年比横這いとなった。

新設住宅着工の推移



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2020年5月	前年比	20年1~5月	前年比
県北	45	△38.4	289	△13.0
県央	148	△24.5	853	△2.7
県南	104	0.0	372	△22.7
合計	297	△20.4	1,514	△10.4

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

### 悪化している

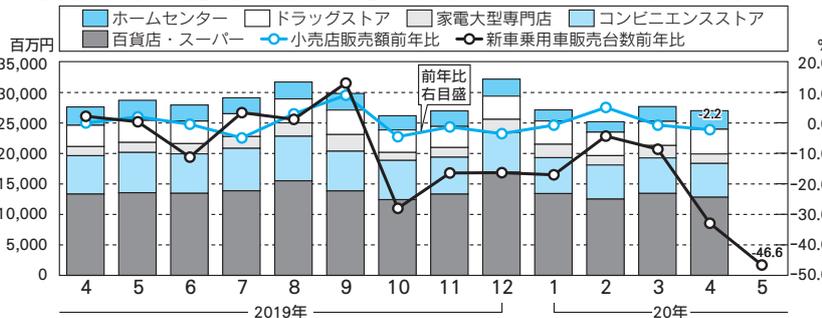
4月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、合計で前年比2.2%減となり、2か月連続で前年を下回った。ドラッグストア（同15.9%増）、家電大型専門店（同4.3%増）、ホームセンター（同1.2%増）で増加したものの、コンビニエンスストア（同12.0%減）などで減少した。

百貨店・スーパー販売額（全店）は、前

年比3.9%減となった。飲食料品で同1.7%増となったものの、衣料品は紳士服・婦人服ともに振るわず、同45.4%減と大幅に減少した。

5月の新車乗用車販売台数は、前年比46.6%減の1,503台となった。登録車、軽乗用車とも大幅に減少し、8か月連続で前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

5月の新車乗用車販売台数（単位：台、%）

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	1,503	△46.6
登録車	990	△36.5
普通車	398	△43.0
小型車	539	△31.2
輸入車	53	△32.9
軽乗用車	513	△59.2

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）（単位：%）

区分	2月	3月	4月
①消費者物価指数	0.1	0.0	△0.4
②勤労者名目賃金	△0.9	△1.5	△1.9

資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

## 衣服・繊維

### 生産額、3か月連続で前年比減少

5月の生産額は、前年比36.4%減となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受注減少から、操業を一時停止した事業所もあり大幅に減少した。

受注も、医療・衛生用品が一部あるものの、百貨店向けの定番品が大きく減少しており、10か月連続で前年を下回った。



## 雇用

### 有効求人倍率は1.28倍、5か月連続で低下

5月の有効求人倍率は、前月比0.06ポイント低下の1.28倍となった。常用の内訳では、一般は前月比0.02ポイント低下の1.17倍、パートは同0.14ポイント低下の1.04倍となった。求人が求職を上回って推移しているが、新型コロナウイルス感染症の影響から改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比22.1%減となり、13か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同35.2%減となった。「電気機械器具」、「木材・木製品」、「電子部品・デバイス・電子回路」などで二桁の減少率となった。非製造業は同20.7%減となった。

#### 業種別・新規求人内訳および新規求職者数 (全数)

区 分		2020年4月	前年比	5月	前年比
新	規 求 人 計	7,072	△23.8	6,485	△22.1
	製 造 業	641	△27.2	530	△35.2
主 要 業 種 の 内 訳	食 料 品	144	△35.1	114	△8.1
	織 維	85	△46.2	105	△39.0
	木 材 ・ 木 製 品	43	△4.4	18	△69.5
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	76	1.3	39	△47.3
	電 気 機 械 器 具	28	△45.1	12	△74.5
	情 報 通 信 機 械	5	△58.3	16	△23.8
	非 製 造 業	6,431	△23.5	5,955	△20.7
	建 設	1,012	△3.8	1,087	15.8
	情 報 通 信	71	31.5	33	△52.9
	運 輸 , 郵 便	331	△30.6	340	△17.3
卸 売 , 小 売	1,309	△19.7	1,174	△18.8	
宿 泊 , 飲 食 サ ー ビ ス	491	△38.0	534	△56.5	
生 活 関 連 サ ー ビ ス , 娯 楽	209	△38.5	170	△56.4	
医 療 , 福 祉	1,463	△25.1	1,383	△2.6	
サ ー ビ ス	754	△30.1	562	△33.4	
新 規 求 職 者 数		5,426	△6.3	3,784	△16.4
有 効 求 職 者 数		17,257	△3.1	16,593	△4.8

(単位: 人、%)

資料: 秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む。

「建設」で増加したものの、「宿泊、飲食サービス」、「生活関連サービス、娯楽」、「情報通信」、「サービス」など多くの業種で二桁の減少率となった。

新規求職者数は前年比16.4%減と、8か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は、前年比27.1%増となり、2か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況 (パートを含む常用) をみると、新規求人数は県北、県央、県南の全地域で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.25倍、県央が1.12倍、県南が1.03倍となった。

#### 有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2020年2月	3月	4月	5月
有 効 求 人 倍 率	常 一 般	1.27	1.24	1.19	1.17
	パ ー ト 時 間	1.49	1.41	1.18	1.04
	全 数 (季 調 済)	1.39	1.37	1.34	1.28
事業主都合離職者数		143	222	770	356
前 年 比		△26.3	△3.9	72.6	27.1

(単位: 倍、人、%)

#### 5月の地域別雇用状況 (パートを含む常用)

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,620	△7.8	1.25	△0.05
県 央	2,938	△21.3	1.12	△0.08
県 南	1,440	△25.9	1.03	△0.05
合 計	5,998	△19.3	1.13	△0.05

(注) 臨時・季節を除く。